

経済危機下での沿海地方の 優先投資プロジェクト

幹線石油パイプライン《東シベリア～太平洋》

目的： 沿海地方経済の質的刷新

沿海地方に原油輸送のインフラを整備し、それによって、原油生産地から沿海地方の石油精製企業まで、ならびに輸出地まで、効率よくエネルギー供給を行う。当プロジェクトによって地域経済の多角化をすすめ、沿海地方に高付加価値を生み出す石油精製業・石油化学工業を誕生させる。

プロジェクト主導者： 公開制株式会社《Transneft》

設計者： 公開制株式会社《VNIIST》

プロジェクトに関する情報：

年間原油輸送量 3,000 万～5,000 万トン

予定される東シベリア - 太平洋幹線パイプラインの原油輸送能力 - 年間 8,000 万トン

ルートの長さ - 4,770 キロメートル以上

東シベリア - 太平洋幹線パイプラインによる原油輸送システムは新世代のパイプライン輸送設備であり、操業できる年数が既存のパイプラインに比べて 20～25 年長い。

当プロジェクトには、自然環境への悪影響を最小限にとどめる革新的技術が採用される。

見積り額： 1,075 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方

実施時期： 2010～2012 年

幹線ガスパイプライン《サハリン ~ ハバロフスク ~ ウラジオストク》

目的： 沿海地方経済の質的刷新

沿海地方に液化ガス輸送のインフラを整備し、それによって、効率の高い新しいガス精製業・ガス化学工業を誕生させ、あわせて、沿海地方各市町村へのガス供給を行う。当プロジェクトにより、エネルギー産業を含む各種製造業のガス燃料への転換が可能になる。

プロジェクト主導者： 公開制株式会社《Gazprom》

設計者： 公開制株式会社《Giprogaztsentr》

総請負企業： 有限会社《Stroyrezerv》

プロジェクトに関する情報：

年間ガス輸送量 - 472 億 m³

長さ - 2,035 km。設計上のガスパイプライン総延長のうち、沿海地方を通る分は、ウラジオストク市方面の支線を含め、843 km。

2012 年までに沿海地方に到達する予定の天然ガスの量 - 25 億 5,700 万 m³

パイプライン建設には革新的なパイプ溶接技術が用いられる。また、パイプのカソード防食処理により、約 40 年間これを保全できる。

見積り額： 1,800 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方

実施時期： 2009 ~ 2011 年

原油積替え施設の建設《コジミノ原油積出し港》

目的： 鉄道輸送されてくる原油の受入れ、そのタンカー積載量までの蓄積、最大積載量 300,000 トンのタンカーへの積込み。

プロジェクト主導者： 公開制株式会社《Transneft》

設計者： 公開制株式会社《VNIIST (全露パイプライン建設操業研究所)》、
公開制株式会社《Giprotruboprovod》

総請負企業： 有限会社《Korporatsiya Inzhtransstroy》、非公開制株式会《Trest Koksokhimmontazh》

プロジェクトに関する情報：

設計上の処理能力： 第 1 期 - 年間原油積替え量 1,500 万トン
第 2 期 - 年間原油積替え量 3,000 万トン

総敷地面積 - 181.16 ha

原油のタンカー積込み用埠頭 - 2

タンク車からの原油排出用鉄道高架設備 - 2 (処理車両数 72 ~ 74 車両)

1 日当たり原油排出量 - 原油を積載した列車 10 ~ 11 本分

1 列車当たり処理速度 - 約 2 時間。寒冷期には加熱用ボイラー設備を使用し、原油タンク車 72 ~ 76 両を連結した列車 1 本を 20 分間で温めることが可能。

原油積込み可能なタンカーの排水量 - 80,000 ~ 150,000 トン

従業員総数 - 2010 年までに 800 人となる。

原油取扱い設備：

原油排出用鉄道高架設備エリア - 以下を備える。加熱用ボイラー設備、タンク車下方からの原油排出装置、ダートポケットフィルター付き原油排出用ポンプステーション、圧力調整装置付き原油量および品質監視システム SIKKh、たて型原油タンク 2 基、バルブ類付き原油配管 (メインおよび補助)、原油基地への移送用ポンプ設備 (中間ストックおよびメイン)。

鉄道高架設備からの輸送コリドーとその終点にある原油基地エリア - 以下を備える。洗浄および診断手段の排出・受入れチャンバー、原油加熱用ボイラー設備付きポンプ設備 (中間ストックおよび循環用)、タンク群、ダートポケットフィルターおよびバルブ類付きメイン原油配管。

陸上および海上設備エリア - 以下を備える。海洋埠頭設備、バルブ類付きメイン配管、原油量および品質監視システム SIKKh、窒素調製装置、石油蒸気回収装置、原油積込み配管をタンカーの受入れマニフォールドに接続するローディングアーム。

エコロジー： 現代的な環境保護対策を講じる。

革新的設備：

コジミノ原油積出し港のユニークな点は、蒸気回収装置が、陸上および海上設備エリア蒸気回収装置が設けられることである。これは、原油積込みの際にタンカーから押し出される気体を捕捉するものである。ここで得られた揮発性炭化水素は、精製ののち加熱用ボイラーの燃料として使用する。ロシアの海洋ターミナルでこのような設備を備えているところにはない。

見積り額： 720 億ルーブル

プロジェクト実施地域： 沿海地方、ナホトカ市管区内、パルチザンスク地区

実施時期： 2009～2015年

第1期工事分の操業開始 - 2009年10月

石油精製工場

目的： 世界標準に見合った現代的な石油製品・石油化学製品生産基地を沿海地方に建設し、高付加価値製品の生産を行う。アジア太平洋地域の石油製品・石油化学製品市場への進出を図る。当工場の技術装備水準はロシア国内では他に類を見ない高いもので、現代的な精製・保管・積出しシステムを採用する。

プロジェクト主導者： 公開制株式会社《Rosneft》

設計者： 公開制株式会社《Omskneftekhimproekt》

総請負企業： 有限会社《RN - Stroy》

プロジェクトに関する情報：

精製される石油の量 - 年間 2,000 万トン

原料の石油の特徴 - 西シベリア産および東シベリア産のロシアン・ブレンド原油

製品として、各種エンジン用燃料、ポリエチレン、ポリプロピレン、エチレングリコール、スチレン、キシレン蒸気、ベンゼンを生産する。

製品の販売先 - ロシア連邦国内市場向け（エンジン用燃料、石油化学製品の一部）と輸出向け（石油化学製品およびエンジン用燃料）が、10%対 90%

当プロジェクトの枠内で、ガスを使用する熱併給発電所の建設が予定されており、これにより環境保護特性がさらに高まる。

見積り額： 7,800 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、パルチザンスク地区、エリザロフ峡谷（東シベリア～太平洋石油パイプラインの終点）

実施時期： 2008～2017 年

天然ガス液化プラントの建設

目的：天然ガスを液化し（-162℃まで冷却）、海上輸送によるアジア太平洋地域諸国の市場への輸出を可能にする。

プロジェクト主導者：公開制株式会社《Gazprom》

プロジェクトに関する情報：

設計上のガス液化能力 - 年間 260 億 m³

天然ガス液化プラントの新規建設事業は、公開制株式会社《Gazprom》が、「中国その他のアジア太平洋地域諸国の市場向けの将来のガス輸出を念頭に、東シベリアと極東のガス生産・輸送・供給統一システム創出プログラム」の枠内で実施するものである。

見積り額：7,200 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域：沿海地方、ハサン地区、ペレヴォーズナヤ湾

実施時期：2010～2015年

ガス精製工場の建設

目的： ガス精製業の振興、沿海地方の消費者へのガス供給。当プロジェクトにより、アジア太平洋地域諸国市場向けの天然ガス輸出を多角化（気体状および液状）することができる。

プロジェクト主導者： 公開制株式会社《Gazprom》

プロジェクトに関する情報：

設計上のガス精製能力： 第1号工場 - 年間 100 億 m³

第2号工場 - 年間 100 億 m³

第1号工場 - エタン、プロパン、ブタン、ヘリウムなどの目的成分の取出し

第2号工場 - エタンを精製してエチレンにしたのち、ポリエチレンを生産

見積り額：

第1号工場 - 1,800 億ルーブル

第2号工場 - 1,800 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域：

第1号工場 - 沿海地方、ハサン地区ペレヴォーズナヤ湾

第2号工場 - 沿海地方、スパスキー地区

実施時期： 2010～2020年

ウスリースク熱供給発電所の建設

目的： 沿海地方南部の消費者に対する電力供給の信頼性の向上。ウスリースク市への暖房・温水供給と環境保全状況の質的改善。

プロジェクト主導者： 公開制株式会社《RAO Energeticheskie sistemy Vostoka (RAO 東部エネルギーシステムズ)》

プロジェクトに関する情報：

発電出力 - 400 ~ 500 MW

発熱出力 - 500 Gcal/h

水源 - ラコフカ貯水池

燃料 - 沿海地方産褐炭を鉄道で搬入

ベーシック・カバレッジ - 1,582,000 Gcal

ピーク・カバレッジ - 218,000 Gcal

発熱設備使用時間数 - 3,214 h

見積り額： 360 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウスリースク市管区

実施時期： 2012 年第 4 四半期

エネルギー生産複合体

ナホトカ熱供給発電所の建設

目的： ナホトカ市管区とその隣接地区の消費者に対する電力および暖房・温水供給の信頼性の向上。石油ガス輸送・精製クラスターに属する新規産業施設（沿海地方石油精製工場およびコジミノ原油積出し港原油積替え施設を含む）へのエネルギー供給の確保。

プロジェクト主導者： 公開制株式会社《RAO Energeticheskie sistemy Vostoka（RAO 東部エネルギーシステムズ）》

プロジェクトに関する情報： 出力 520MW

見積り額： 550 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ナホトカ市管区

実施時期： 2011 年

沿海地方原子力発電所の建設

目的： 沿海地方のアルミニウム工場と消費者に対する電力供給の確保。当プロジェクトの実施により、アジア太平洋地域諸国原子力発電所建設のための輸送および部品供給センター、ならびに、沿海地方とアジア太平洋地域諸国で原子力発電に従事する人材の育成、および研修のための教育センターの創出を可能にする。

プロジェクト主導者： 国家原子力会社《Rosatom》

プロジェクトに関する情報：

出力 - 1,000 MW

それぞれ 2019 年および 2020 年に運転を開始する原子炉ブロック 2 基を建設する予定。

見積り額： 360 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方

実施時期： 2016 ~ 2020 年

エネルギー生産複合体

500KV 高圧送電線の建設

目的： 極東エネルギーシステム南部一帯の環状の高圧送電線を整備することにより、沿海地方の電力消費量の70%が集中する同地方南部の消費者への電力供給を確実なものとする。また、エネルギーシステムの送電能力を高め、電力輸出を技術的に可能なものとする。

プロジェクト主導者： 公開制株式会社《RAO Energeticheskie sistemy Vostoka (RAO 東部エネルギーシステムズ)》

プロジェクトに関する情報：

「ダリネヴォストーチナヤ ~ ウラジオストク間」(ウラジオストク 500KV 変電所を含む) - 出力 1 x 501 MVA、1 x 125 MVA、長さ 95 km

「チュグエフカ ~ ロゾヴァヤ ~ ウラジオストク間」(ロゾヴァヤ 500KV 変電所を含む) - 出力 1 x 501 MVA、長さ 372 km

見積り額：

「ダリネヴォストーチナヤ ~ ウラジオストク間」(ウラジオストク 500KV 変電所を含む) - 33 億ルーブル

「チュグエフカ ~ ロゾヴァヤ ~ ウラジオストク間」(ロゾヴァヤ 500KV 変電所を含む) - 113 億 5,000 万ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方

実施時期： 2009 ~ 2011 年

「ダリネヴォストーチナヤ ~ ウラジオストク間」(ウラジオストク 500KV 変電所を含む) - 2009 年

「チュグエフカ ~ ロゾヴァヤ ~ ウラジオストク間」(ロゾヴァヤ 500KV 変電所を含む) - 2011 年

ウラジオストク空港施設の建設

目的： 国際的要求水準に見合うハブ空港サービス業務の可能な、現代的な空港施設の建設

プロジェクト主導者： ロシア運輸省連邦航空輸送局

施主： 公開制株式会社《International Airport Sheremetyevo (シェレメーチエヴォ国際空港)》

設計者：《HOCHTIEF》社、ドイツ

総請負企業：《HOCHTIEF》社、ドイツ

プロジェクトに関する情報： 総面積約 60,000 平方メートル、繁忙期の 1 時間当たり旅客取扱い能力最大 1,700 人 (70%がロシア国内線、30%が国際線の旅客として計算) の旅客ターミナルの建設。2015 年までに予測される旅客回転量 - 年間 210 万人

見積り額： 40 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、アルチョーム市管区

実施時期： 2009 ~ 2011 年

ポシエト港の開発

目的： 輸出入貨物取扱業の振興。処理能力の高い貨物取扱い新技術の導入。

当プロジェクトの実施により、海上輸送コストを引き下げ、アジア太平洋地域諸国の市場におけるロシア製品の競争力を高める。

プロジェクトに関する情報：

ポシエト港開発プロジェクトは、ポシエト港の港湾設備の刷新、ならびにポシエト港石炭積替え設備アクセス運河の建設という2つの基本的な計画から成る。

運河の特徴：長さ:4,500 m、幅:130～180 m、水深:14 m、

航行期間:通年、操業態勢:1日24時間・通年

ナビゲーション装置により航行の安全を確保。

年間延べ船舶寄港数 - 127

ポシエト港積替え設備は、鉄道輸送から海上輸送への石炭の積替えを行うためのものである。

石炭の貨物回転量：年間500万～700万トン

見積り額：

アクセス運河の建設 - 3億6,000万ルーブル

ポシエト港の港湾設備刷新 - 設計段階で確認

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ハサン地区

実施時期： 2010～2011年

ヴォストーチヌイ港穀物ターミナルの建設

目的：ヴォストーチヌイ港穀物ターミナルは、農産物としての穀物の短期保管、その海洋船舶への積込み / 船舶からの積卸し（輸出入）を行うためのものである。

当プロジェクトの目的は、穀物輸出量の増大、プリモーリエ 2 輸送回廊を用いた中国北東諸省からの穀物の中継輸送である。

プロジェクトに関する情報：

穀物ターミナルの取扱い能力は年間 350 万トン。操業態勢は 1 日 24 時間・通年。

対象船舶 - 積載量 25,000 トンから 60,000 トンまでのばら積み型

昇降機の容積 - 75,000 トン、ストッカー（横型）の容積 - 350,000 トン

見積り額： 25 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ヴランゲリ村（ヴォストーチヌイ港）

高速鉄道の建設《ウラジオストク - 空港 - ウスリースク間》

目的： 2012年 APEC 首脳会議開催に伴うツアー需要をまかなうための、都市近郊型高速旅客輸送業の創出。沿海地方南部における大都市形成の促進

プロジェクトに関する情報：

電車運行速度 130～160 km/h

標準所要時間 「ウラジオストク～アルチョーム間」 - 30分

「ウラジオストク～ウスリースク間」 - 50分

見積り額： 1,653億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市、ナジョージジンスキー地区、アルチョーム市管区、ウスリースク市管区

実施時期： 2009～2012年

**ヴォストーチヌイ港既設コンテナターミナルにおける
埠頭の改修および新規建設**

目的： 太平洋横断航路方面を航行する基幹航路船舶 - 支線航路船舶間での双方向のコンテナ積替えを行う基幹中継輸送センターとしての、ヴォストーチヌイ港の競争力向上

プロジェクトに関する情報：

現代的なコンテナ取扱い技術および積替え設備を導入し、2013年までにコンテナ取扱い量を年間220万TEUに引き上げる。

見積り額： 64億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ヴランゲリ村（ヴォストーチヌイ港）

実施時期： 2010～2013年

自動車道路《ラズドーリノエ ~ ハサン間》

目的：ラズドーリノエ - ハサン間自動車道路は、沿海地方南部の諸港を中国、北朝鮮に至る国境通過ポイントにつなげる自動車道路インフラの一環として重要であり、連邦自動車道路への接続を確保するものでもある。

国際輸送回廊プリモーリエ 1 (PR1) とプリモーリエ 2 (PR2) を結ぶこの道路は、ロシア連邦の対外経済活動の発展にとって重要な役割を担っている。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府

設計者： 公開制株式会社《GIPRODORNII》ハバロフスク支店、有限会社《Amurdorproekt》

総請負企業： 非公開制株式会社《Tikhookeanskaya mostosoroitelnaya kompaniya (太平洋橋梁建設会社)》 - 14 km ~ 23 km 区間、87 km ~ 99 km 区間

74 km ~ 79 km 区間 (ナルヴァ峠)、60 km ~ 66 km 区間については請負企業未定。

プロジェクトに関する情報：

道路等級 -

車線数 - 2車線

ラズドーリノエ ~ ハサン間自動車道路の総延長 216 km のうち、道路等級 の部分は 170 km (ラズドーリノエ ~ クラスキノ間)、 の部分は 46 km (クラスキノ ~ ハサン間)。

「2013 年までの極東およびザバイカル地方経済社会発展連邦特別プログラム」によれば、25.58 km の道路が同プログラムの枠内の改修対象であり、うち橋梁、陸橋部分は 371.9 m (直線長)。

見積り額： 50 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ナジョージジンスキー地区およびハサン地区

実施時期： 2008 ~ 2013 年

自動車道路《テルネイ ~ マーラヤ・ケマ間》

目的：テルネイ ~ マーラヤ・ケマ間自動車道路は、沿海地方の北部と中南部を結ぶ唯一の陸上交通路として重要な輸送インフラの一部であるとともに、同地方北部の発展とその天然資源の開発促進の役割を担うものである。

プロジェクト主導者：沿海地方行政府

プロジェクトに関する情報：

道路等級 -

車線数 - 2車線

道路総延長 - 114 km

「2013年までの極東およびザバイカル地方経済社会発展連邦特別プログラム」によれば、63 kmの道路が同プログラムの枠内の改修対象であり、うち橋梁、陸橋部分は864 m（直線長）。

見積り額：39億7,000万ルーブル

プロジェクト実施見込み地域：沿海地方、テルネイスキー地区

実施時期：2011～2013年

自動車道路〈ルードナヤ・プリースタニ ~ テルネイ間〉

目的： ルードナヤ・プリースタニ ~ テルネイ間自動車道路は、重要な輸送インフラの一部であり、沿海地方の北部と中南部をつなぐ唯一の道路であるとともに、連邦自動車道路と鉄道への接続を確保するものでもある。この道路は、沿海地方最北端の遠隔地の経済的社会的発展にとって重要な役割を担う。この道路により、沿海地方北部の少数民族に対する他地域との間の通年利用可能な確実な輸送路の提供、北部の資源の経済的開発が可能になる。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府

プロジェクトに関する情報：

道路等級 -

車線数 - 2

道路総延長 - 138 km

「2013年までの極東およびザバイカル地方経済社会発展連邦特別プログラム」によれば、35.7 kmの道路が同プログラムの枠内の改修対象であり、うち橋梁、陸橋部分は386 m（直線長）。

見積り額： 43億3,000万ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ダリネゴールスク地区およびテルネイスキー地区

実施時期： 2011～2013年

自動車組立業 公開制株式会社《Sollers》

目的： 沿海地方に産業的規模の自動車組立業を興し、地域経済の一部門としての新しい輸出志向産業を誕生させる。中小企業を誘致して自動車部品製造業に従事させることで、経済危機対策としてきわめて重要な中小企業振興、内需拡大、及び新規雇用創出を可能にする。

現代的技術に立脚した自動車産業の振興により、ロシア自動車産業の一大求心力として、新しいブランドであるウラジオストク・ブランドの誕生を可能にする。

プロジェクトに関する情報：

生産能力： 第1段階（2009年） - 年産自動車台数 15,000 台以上

第2段階（2012年） - 年産自動車台数最大 40,000 台まで

プロジェクト第1期の生産開始 - 2009年12月29日

生産モデル - Ssang Yong オフロード車、ISUZU 貨物トラック、Fiat Ducato スペシャルカー
将来的には乗用車の組立てを予定

雇用者数 - 第1段階 700人、第2段階 2,300人

見積り額： 51億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市

実施時期： 2009～2012年

造船業ホールディングスの創設

目的： 沿海地方における船舶修理・造船クラスターの振興。マクロ地域規模および全国規模の船舶修理と造船市場における確固たる地位の確立。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府

設計者： 公開制株式会社《OSK》

プロジェクトに関する情報： 造船および船舶保守修理ゾーン、管理センター、設計・エンジニアリングセンターの設置が決まっている。

主要造船ゾーン

1. 「大洋掘削プラットフォーム建造ゾーン『ヴォストーク』」 公開制株式会社《30 SRZ》とドゥナイ村付近に新規建設される造船所をベースとして創設される予定。半浸水式掘削プラットフォームの建造を目的とするもので、将来的には、第3世代～第6世代の掘削プラットフォーム、容積最大100万トンまでの石油ガス浮きストッカー、石油液化フローティングプラント、大型特殊船舶などを建造できる新しい乾ドックの建設が想定されている。
2. 「大型船舶建造ゾーン」 新しく建造される新しい乾ドックの操業開始により、容積最大215,000立方メートルまでの大型民間船舶、排水量最大200,000トンまでのアイスクラス級タンカーの建造が想定されている。

見積り額： 360億ルーブル

実施時期：

事務的作業の全体 - 2011年末

戦略的作業 - 2013年

ハイテク・テクノパークの創設

目的： 沿海地方経済におけるハイテク部門の創出と振興。当テクノパークへ、世界の主要ハイテク企業の生産施設の誘致。沿海地方ハイテク企業の製品の世界市場進出。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府、ロシア科学アカデミー極東支部、沿海地方の大学教育機関および団体

プロジェクトに関する情報：

テクノパーク敷地面積 - 200 ha 以上

入居企業数 - 100 を超える新しい企業

当テクノパークの主要な専門的方向性は、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、IT、電子機器・計測機器製造などのハイテク経済部門である。

当テクノパークは、ハイテク分野のベンチャープロジェクト実現をめざす地域企業・団体のためにイノベーション・インフラを整備するものである。

見積り額： 28 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市

実施時期： 2009～2011 年

レクリエーションゾーンとしてのルースキー島の総合開発

目的： 観光業クラスターの創出。沿海地方の現代的な観光資源の開発とアジア太平洋地域とロシア連邦の市場におけるその競争力の確保。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府

設計者： 公開制株式会社《Primorgrazhdanproekt》

プロジェクトに関する情報：

建設の対象となる主な商業的不動産 - スポーツ・レクリエーション施設（ゴルフクラブ、アルペンスキーリゾート）、ホテル、複合ミュージアム、ウォーターレクリエーション施設

景観・レクリエーションゾーンの設置：

森林パークゾーン（観光コース、スキーコース、キャンピングエリア） - 2,392 ha

多目的パークゾーン（樹木公園、動物園、サファリパーク） - 137 ha

一般向け年間バケーションゾーン（バケーションベース、モーター、キャンピングエリア、アルペンスキー施設） - 917 ha

ビーチゾーン（ハーバー、ヨットクラブ、フロートキャンピング、ウォータースポーツ設備）
- 15 ha

自然保護および歴史・文化ゾーン（歴史観光ルート、記念ミュージアム、森林公園）

見積り額： 360 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市、ルースキー島

実施時期： 2009～2013 年

沿海地方のカジノ地域の創設

目的： 沿海地方唯一のカジノ地域を創設し、沿海地方を訪れる観光客を最大年間 500,000 人まで増大させる。当地域の創設により、沿海地方の観光・レクリエーション産業面のポテンシャルを顕在化し、アミューズメント産業インフラ、スポーツセンター、医療・健康増進センター、スパの整備、ならびに外食産業の振興を図る。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府

プロジェクトに関する情報：

総面積 - 6,197,311 平方 m

予定規模 - 自動ゲーム機（スロットマシン等）1,200 台、ゲーム用テーブル 60 台、ポーカーテーブル 20 台、VIP テーブル 15 台

観光業インフラ： 5 ツ星および 4 ツ星ホテル、スポーツ施設、コーヒーショップ、レストラン、棧橋、ピア、マリーナ、ウォーターアトラクション、ビーチゾーン、ヘリポート、バックオフィス、総合スポーツセンター、競馬場、アクアパーク、レクリエーション施設を含む森林公園ゾーン、コンベンションセンター、駐車場

予定従業員数： 3,500 人

見積り額： 360 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、アルチョーム市管区、ムラヴェイ湾

実施時期： 2009 ~ 2013 年

ウラジオストク市国際プロフェッショナル映画スタジオの創設

目的： 沿海地方への映画スタジオの創設、児童・青少年向け映画を含む国産映画、映画デビュー作の制作。映画祭とその他の文化事業の実施。国際映画祭とその他の国際文化事業への参加。教育および科学技術プログラムの実施。

プロジェクトに関する情報：

映画スタジオ敷地面積 - 100 ha

当映画スタジオには、撮影、作業、専門、サービスを含む7部門が含まれる予定。

映画スタジオの敷地内には、ヨットクラブ、ホテル、映画館、共同施設、展示ホール、プレスセンター、ホール、アトラクションパーク、外食産業施設を設置する。

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市、ルースキー島

実施時期： 2009～2011年

ウラジオストク市多機能5ツ星ホテル施設の建設

目的： 現代的なホテルはウラジオストク市の発展に欠かせない。アジア太平洋地域における国際協力事業の中心地としての市のイメージの強化。

快適性の高いホテルにより、観光地としての沿海地方の魅力を高め、第一級のフォーラム開催地となる可能性を生み出す。

海岸線沿いにホテルを立地し、海を望む街の魅力的な景観をつくりだす。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府、有限会社《Nash dom-Primorie》

設計者： 公開制株式会社《RMJM Skotland Limited》

プロジェクトに関する情報：

次の2つの5ツ星ホテルの建設：

リゾートタイプ多機能ホテル施設 - 250名収容、ブルヌイ岬付近に立地。コンベンションホール、ビジネスセンター、水泳プール付きスポーツ・健康増進センター、レストラン、バーを含む。

ビジネスタイプ多機能ホテル施設 - 250名収容、コラベリナヤ海岸通り付近。コンベンションホール、ビジネスセンター、水泳プール付きスポーツ・健康増進センター、レストラン、バーを含む。

見積り額： 75億2,000万ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク、市

実施時期： 2010～2011年

科学教育・観光複合施設「プリモールスキー・オーシャナリウム」

目的： 科学教育センターの創設。観光・レクリエーションゾーンとしてのルースキー島の開発。

プロジェクトに関する情報：

オーシャナリウム（海洋館）来館者総数 - 700 人

ドルフィナリウム（イルカ館）来館者数 - 800 人

オーシャナリウム総面積 - 32,970 平方 m

アクリルガラスを使用した現代的な水族館では、いくつかの気候地帯別に水中生物の様子を展示。このオーシャナリウムに隣接して、ショーのための大型アリーナステージを持つドルフィナリウムを建設予定することになっている。

オーシャナリウムには、研究室、コンベンションホール、学習オーデトリウム、サイエンスライブラリー、ミュージアムが設置される予定。当プロジェクトには、変電所、暖房用ボイラー設備、下水浄化施設などのインフラ整備、ならびに周辺地域の美化、道路拡幅、海岸通りの建設も含まれている。

見積り額： 75 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市、ルースキー島

実施時期： 2008～2011 年

ハバロフスク ~ ウラジオストク間連邦自動車道路 M - 60「Ussuri」を
ルースキー島に接続する幹線自動車道路の一部である
ウラジオストク市ザラトイログ湾横断橋の建設

目的： ザラトイログ湾横断橋は、ウラジオストク市で 2012 年に開催予定の APEC 首脳会議参加国代表団の招待ルートとして使用されるクネヴィチ空港 ~ サナートルナヤ駅間幹線自動車道路建設の最終段階となるものである。当橋は、市中心部と将来有望な一帯であるゴールドビン半島とを最短距離で結び、さらに、ルースキー島に至るボスフォル・ヴォストーチヌイ（東ボスポラス）海峡の橋に接続される。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府

施主： 沿海地方行政府

設計者： 非公開制株式会社《Institut Giprostroymost - Saint-Petersburg》

公開制株式会社《Lengiprotrans》

総請負企業： 非公開制株式会社《Tikhookeanskaya mostosoroitelnaya kompaniya（太平洋橋梁建設会社）》

プロジェクトに関する情報：

当橋の道路等級 - 運行規制対象全市水準幹線道路

建設全長 - 2.1 km

ザラトイログ湾横断橋の長さ - 1,388 m

ザラトイログ湾横断橋のスキーム - $49.98 + 2 \times 90 + 100 + 737 + 100 + 2 \times 90 + 41.94$

車道部分の寸法 - $G - (8.0 + S + 8.0)$ m

アクセス高架長さ - 353.3 m

立体交差式オーバーパス部分の長さ - 503.2 m

トンネルの長さ - 249.2 m

見積り額： 161 億ルーブル（2007 年第 4 四半期の価格水準による）

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市

実施時期： 2008 ~ 2011 年

自動車道路の建設《パトロクル湾 ~ ザラトイログ湾横断橋間》

目的： 当自動車道路は、ウラジオストク市で開催される APEC 首脳会議参加国代表団の招待ルートとして計画されているものである。この道路により、同代表団を完全に安全な環境のもとでの高速かつ連続的に移送するとともに、ザラトイログ湾横断橋をボスフォル・ヴォストーチヌイ・橋につなげることにより、ウラジオストク市の輸送インフラの基盤となる。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府

設計者： 公開制株式会社《Primorgrazhdanproekt》

プロジェクトに関する情報：

道路等級 - 運行規制対象全市水準幹線道路

建設全長 - 5.37 km

見積り額： 23 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市

実施時期： 2008 ~ 2011 年

**運行規制対象全市水準幹線自動車道路のうちの
サナートルナヤ駅 ~ ザラトイログ湾横断橋区間の改修**

目的： 運行規制対象全市水準幹線自動車道路のうちのサナートルナヤ駅 ~ ザラトイログ湾横断橋区間の改修により、ウラジオストク市の輸送システムを整備し、2012年 APEC 首脳会談への準備の一環としてのルースキー島との間の十全な連絡を保证する。

プロジェクト主導者： ウラジオストク市行政府

プロジェクトに関する情報：

当自動車道路の長さ - 14.5 km

運行規制対象全市水準幹線道路のうちのサナートルナヤ駅 ~ ザラトイログ湾横断橋間は、ハバロフスク ~ ウラジオストク間連邦自動車道路 M - 60「Ussuri」の続きであり、ウラジオストク市内を通りザラトイログ湾横断橋に至るまでの部分である。

この改修工事により、沿海地方南部、とりわけウラジオストク市の輸送インフラの基盤が形成される。

見積り額： 10 億 1,000 万ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市

実施時期： 2009 ~ 2011 年

**クネヴィチ空港（ウラジオストク市）からハバロフスク ~ ウラジオストク間
連邦自動車道路（M - 60「Ussuri」）までの自動車道路の改修**

目的： この自動車道路は、ウラジオストクで開催される APEC 首脳会議参加国代表団の招待ルートとして計画されているものである。この道路により、同代表団を完全に安全な環境のもとで高速かつ遅延なく移送するとともに、クネヴィチ空港国際旅客ターミナルへのアクセス自動車道路のハバロフスク ~ ウラジオストク間連邦自動車道路への接続を確保する。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府

設計者： 公開制株式会社《ROAD DESIGN,SURVEY AND RESEARCH INSTITUTE
GIPRODORNII》ハバロフスク支店

プロジェクトに関する情報：

道路等級 -

建設全長 - 9.04 m

車線数 - 4 車線

見積り額： 4 億ルーブル（2009 年第 2 四半期の価格水準による）

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、アルチョーム市管区

実施時期： 2008 ~ 2011 年

**ウラジオストク市上下水道システムの改修および拡大
(ウラジオストク市中央下水道システムの改修)**

目的： 浄水施設の建設により、ウスリー湾、アムール湾、ザラトイログ湾の汚染度軽減、ウラジオストク市民の保健衛生環境の整備、市内リゾート環境の改善、保健・リゾート・観光サービス市場の拡大、沿岸漁業会社の生産物の品質向上を確保する。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政政府

施主： KPPK 《Edinaya direktsiya po stroitelstvu objektov na territorii Primorskovo kraja (沿海地方建設事業統一指導部)》

設計者： 公開制株式会社《Primorgrazhdanproekt》

総請負企業： 地方国家単一企業《Primorskiy vodokanal》

プロジェクトに関する情報：

処理能力 132,000 m³/日の下水ポンプステーション No.5 (設備ネットワークを含む) の建設

処理能力 160,000 m³/日の下水ポンプステーション No.2 (設備ネットワークを含む) の建設

処理能力 160,000 m³/日の浄水施設エリアの建設

浄水施設エリアに至る配管ネットワークの拡張

見積り額： 37 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市

実施時期： 2008 ~ 2011 年

ウラジオストク市固形生活ゴミ処理・再生施設の建設

目的：当施設の建設により、環境保護面および衛生面における現代の要求水準を考慮に入れつつ、固形生活ゴミ埋設のための条件整備を行う。また、ウラジオストク市とその隣接地区の環境状況改善を促進する。

プロジェクト主導者：沿海地方行政府

施主：KPPK 《Edinaya direktsiya po stroitelstvu objektov na territorii Primorskovo kraya (沿海地方建設事業統一指導部)》

設計者：連邦国家単一企業《GOSTEKHSTROY》

総請負企業：有限会社《Vostokstroyservis》

プロジェクトに関する情報：

固形生活ゴミ機械処理工場 - 処理能力 年間 300,000 トン

固形生活ゴミ処理場全体の敷地面積 - 50 ha

処理工場の面積 - 9.8 ha

固形生活ゴミ処理場稼働年数 - 30 年まで

自動車道路 - 5 km まで

雨水および雪解け水浄化設備 - 処理能力 最大 500 m³/日

生物学的浄化設備 - 処理能力 最大 500 m³/日

見積り額：14 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域：沿海地方、ウラジオストク市

実施時期：2008～2011 年

ウラジオストク市固形生活ゴミ投棄場の土壌再生

目的： 固形生活ゴミ投棄場の土壌再生処理と、現代的な要求水準にみあった固形生活ゴミ処理施設の新規建設により、沿海地方で最大の人口を擁する都市のひとつであるウラジオストク市内で、期間約 20 年間の固形生活ゴミ埋設処理を行うための高度な環境保全条件を創出する。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府

設計者： 連邦国家単一企業《GOSTEKHSTROY》

総請負企業： 有限会社《Vostokstroyservis》

プロジェクトに関する情報：

固形生活ゴミ投棄場土壌再生プロジェクトは次の 2 段階から成る。

第 1 段階 - 技術的段階（レイアウト、立案、再生用レイヤーの搬送と投入、水利施設の建設）
既存投棄場を取り囲む支持壁を建造し、投棄物の環境中への遺漏を完全に遮断する。海側からは、波打ち際に高度の大きなスロープを建造する。このスロープには、各重量 6 トンまでの金属ネットと岩石から成る特殊構造物を使用する。その後、ゴミ投棄場を最終的に隔離するために、厚さ 1 m の粘土製の遮断壁を建造する。

第 2 段階 - 生物学的段階（緑地帯の造営、樹木・灌木類の植付け、その他）

第 2 段階では、生物学的な土壌再生処理、すなわち、特別な種類の植物の植えかえを行う。既存ゴミ投棄場の土壌再生とならんで、ウラジオストク市内に、現代的なゴミ処理・再生技術を採用した新しい生活ゴミ処理場を建設する。この処理場の設計は最終段階にある。

投棄場土壌再生処理後の予定敷地面積 - 9 ha

既存投棄場の容積 - 2,800 万 m³

見積り額： 11 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市

実施時期： 2008 ~ 2010 年

北部浄水施設の改修、南部浄水施設の建設、東部浄水施設の建設

目的： 浄水施設の改修と建設により、ウスリー湾、アムール湾、ザラトイログ湾の汚染度軽減、ウラジオストク市民の保健衛生環境の整備、市内リゾート環境の改善、保健・リゾート・観光サービスの可能性の拡大、沿岸漁業会社の生産物の品質向上を確保する。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府

施主： KPPK 《Edinaya direktsiya po stroitelstvu objektov na territorii Primorskovo kraya (沿海地方建設事業統一指導部)》

設計者： 非公開制株式会社《Energokaskad》

プロジェクトに関する情報：

南部浄水施設および東部浄水施設の建設 - 処理能力 400,000 m³/日

北部浄水施設の改修 - 処理能力を 100,000 m³/日へ引き上げ

検査棟 - 2,000 m²まで

機械修理工場 - 1,000 m²まで

6車両収容の駐車場 - 面積 1,500 m²まで

見積り額： 56 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市

実施時期： 2008～2011 年

プーシキン地下水源地を利用した ウラジオストク市その他の沿海地方市町村向け上水道施設の建設

目的： プーシキン地下水源地を利用した沿海地方向け上水道施設の改修と拡大により、2012年 APEC 首脳会議のための確実な給水態勢を整備するとともに、ウラジオストク市の発展に寄与する。

ウラジオストク市、アルチョーム市および隣接市町村向け上水道の整備にかかわる総合的な施策により、プーシキン低地からの給水用として、クラスヌイエ・カザールムイとポドゴロードネンカの2箇所ポンプステーションが建設されることになっている。プーシキン低地からクラスヌイエ・カザールムイ給水ステーションまでは74km、クラスヌイエ・カザールムイ給水ステーションからデ=フリーズ半島を経てルースキー島までは63km、クラスヌイエ・カザールムイ給水ポンプステーションからポドゴロードネンカ給水ポンプステーションを経てルースキー島までは81 kmである。このような計画により、ルースキー島、さらにウラジオストク市全体の給水問題を解決する。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府

施主： KPPK 《Edinaya direktsiya po stroitelstvu objektov na territorii Primorskovo kraja (沿海地方建設事業統一指導部)》

プロジェクトに関する情報：

プーシキン水源地の給水能力 - 200,000 ~ 250,000 m³ / 日

ボリーソフ地区からの移送ポンプステーションの能力 - 124,500 m³ / 日

D = 1,200 mm 圧力送水管の長さ - 37 km

見積り額： 68 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： ウラジオストク市、沿海地方、ナジョージジンスキー地区、ラズドーリノエ地区

実施時期： 2008 ~ 2011 年

ウラジオストク市向け第3号水道管と付属ポンプステーション群の建設

目的： 第3号水道管と付属ポンプステーション群の建設により、ウラジオストク市民のためのアムール湾側からの確実な給水態勢を整備し、さらに、第2号熱併給発電所への給水も保証する。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府

設計者： 公開制株式会社《Primorgrazhdanproekt》

プロジェクトに関する情報：

D = 1,200 mm 水道管の移送能力 - 180,000 m³ / 日 (max)

水道管の長さ - 65 km

オポールナヤ山純水タンク2基の容積 - 2 × 15,000 m³ / 日

ポンプステーションの数 - 3箇所

見積り額： 13億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： ウラジオストク市、アルチョーム市管区、シコトフスキー地区

実施時期： 2008～2011年

ウラジオストク ~ ナホトカ ~ ヴォストーチヌイ港間自動車道路

目的：ウラジオストク ~ ナホトカ ~ ヴォストーチヌイ港間自動車道路は沿海地方南部の重要な交通路である。この道路は、連邦自動車道路を大規模国際海洋港湾に接続するもので、ロシア連邦の対外経済活動の発展にとって重要な役割を担う。

プロジェクト主導者：沿海地方行政政府

設計者：公開制株式会社《GIPRODORNII》ハバロフスク支店

プロジェクトに関する情報：

KM18 + 500 ~ KM40 + 800 区間

道路等級 -

車線数 - 2車線

総延長 - 30.02 km

うち高架部分 - 1箇所 / 1,500.23 m

橋梁、陸橋部分 - 19箇所 / 1,914.04 m (直線長)

KM 0 ~ KM 18 + 500 区間

道路等級 -

車線数 - 4車線

総延長 - 18.5 km

うち橋梁、陸橋部分 - 630 m (直線長)

見積り額： *KM18 + 500 ~ KM40 + 800 区間* - 75億ルーブル

KM 0 ~ KM 18 + 500 区間 - 44億3,000万ルーブル

プロジェクト実施見込み地域：沿海地方、アルチョーム市管区、シコトフスキー地区、
ZATO (閉鎖地区) ボリショイ・カーメニ

実施時期： *KM18 + 500 ~ KM40 + 800 区間* - 2010 ~ 2013年

KM 0 ~ KM 18 + 500 区間 - 2009 ~ 2013年

ウスリースク ~ ポグラニーチヌイ ~ 国境間自動車道路

目的：ウスリースク ~ ポグラニーチヌイ ~ 国境間自動車道路は、沿海地方の国境地帯をハバロフスク ~ ウラジオストク間連邦自動車道路 M - 60「Ussuri」ならびに沿海地方主要工業地帯に接続するものである。この道路は、国際関係、国内経済および国防面での重要な意味を持つとともに、中国に至るロシア連邦の国境通過ポイントへのアクセス、沿海地方南部の諸国際港湾に向けた国際貨物の中継輸送を可能にする。

プロジェクト主導者：沿海地方行政府

総請負企業：非公開制株式会社《DV PromStroy》 - 20 km ~ 35 km 区間
13 km ~ 20 km 区間、51 km ~ 72 km 区間については、請負企業未定

設計者：公開制株式会社《GIPRODORNII》ハバロフスク支店
72 km ~ 96 km 区間については、設計者未定

プロジェクトに関する情報：

道路等級 -

車線数 - 2車線

ウスリースク ~ ポグラニーチヌイ ~ 国境間自動車道路総延長 - 113 km

「2013年までの極東およびザバイカル地方経済社会発展連邦特別プログラム」によれば、74.88 kmの道路が同プログラムの枠内の改修対象であり、うち橋梁、陸橋部分は1,428.9 m(直線長)。

見積り額：48億7,000万ルーブル

プロジェクト実施見込み地域：沿海地方、ポグラニーチヌイ地区、オクチャーブリ地区、ウスリースク市管区、プリモーリエ - 1輸送回廊 (PR1)、ポグラニーチヌイ (対中国国境) ~ ウスリースク ~ ウラジオストク / ヴォストーチヌイ港 / ナホトカ

実施時期：2013年まで

ルースキー島内道路網の建設

目的： ルースキー島内道路網の整備計画は、ボスフォル・ヴォストーチヌイ橋以降のサピョールヌイ半島全域をカバーするものである。

ルースキー島の道路網とウラジオストク市道路網の連絡により、ウラジオストク市内幹線道路に入るための直接の出口がつけられる。その際、ルースキー島からは、いろいろな道路を経由した輸送ルートがあり、これらをフレキシブルに活用することが可能である。このため、ルースキー島に至る橋が完工すれば、同島がただちに市内幹線道路網に接続され、さらに、この道路網の改修・整備の進展に応じて、段階的に、さまざまな輸送スキームをとりいれることができるようになる。

プロジェクト主導者： ウラジオストク市行政府

見積り額： 78億2,000万ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市、ルースキー島

実施時期： 2008～2012年

極東連邦大学の建設

目的： この新しい研究教育センターは、先進的な教育プログラムを実施するアジア地域の、現代的な研究集積・教育組織となるものである。

プロジェクト主導者： ロシア連邦地域発展省

施主： 連邦国家組織《Dalnevostochnaya direktsiya Rosstroya (「ロスストロイ極東指導部」)》

自然科学部 (建物面積) - 40,000 m²

3,500 人収容のホテル - 3 ツ星

2,000 人収容のホテル - 4 ツ星

見積り額： 417 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市、ルースキー島

実施時期： 2008 ~ 2012 年

オペラ・バレエ劇場の建設

目的： 2012年 APEC 首脳会議開催準備計画の一環としてのウラジオストク・オペラ・バレエ劇場の建設

プロジェクト主導者： 沿海地方行政政府

施主： KPPK 《Edinaya direktsiya po stroitelstvu objektov na territorii Primorskovo kraja (沿海地方建設事業統一指導部)》

プロジェクトに関する情報：

建物総面積 - 98,160 m²

建築容積 - 600,000 m³

演劇のパフォーマンス、著名演奏家によるコンサート用の劇場大ホール - 1,500 人収容

演劇団体による室内パフォーマンス用の劇場小ホール - 400 人収容

盛土面積 - 41,300 m²

整備美化面積 - 57,270 m²

駐車場 - 450 車両収容

ウラジオストク・オペラ・バレエ劇場の設計にあたっては、もっとも現代的な劇場建築のひとつ（韓国、高陽市）がモデルとされた。

劇場の建物は、ザラトイログ湾横断橋終点付近のファストフスカヤ通りに建設の予定。収容人数それぞれ 400 人および 1,500 人の、快適性の高い 2 つのホールが設置される。

見積り額： 25 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市

実施時期： 2008～2011 年

ウラジオストク市総合スタジアムの建設

目的： アイスホッケーを含むウィンタースポーツ振興のためのウラジオストク市屋内アイスアリーナの建設

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府

設計機関： 公開制株式会社《Primorgrazhdanproekt》

プロジェクトに関する情報：

敷地面積 - 4.57 ha

建設面積 - 17,912 m²

整備美化地帯の面積 - 7.15 ha

当プロジェクトは、いずれもアイスホッケーの試合を行うことのできるアイスアリーナ2つを含む。また、両アリーナの境界をとりはずすことにより、長距離・短距離のスピードスケート競技会を行うことができる。カーリングレーンも設置予定。さらに、コンサートおよび見本市の会場として利用することもできる。

設計者のプランでは、一帯を公園として整備する予定である。当総合スタジアムの建物は、レイク・カスケードの景観をつくりだし、この公園に有機的に溶け込むものとなる。

見積り額： 24 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方ウラジオストク市

実施時期： 2006～2010 年

ウラジオストク市への沿海地方国立公共図書館の建設

目的： 公共図書館の建設により、現代のライブラリー・情報技術の導入にもとづく、質的に新しく競争力の高いライブラリーサービスを実現させる。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政政府

設計機関： 公開制株式会社《Institut obschestvennykh zdaniy (公共建物研究所)》モスクワ市

プロジェクトに関する情報：

国立図書館蔵書数 - 120万巻

閲覧室の規模 - 470人収容

図書館従業員数 - 200名

国立文書館収蔵点数 - 200万単位

文書館従業員数 - 140名

来館者数 - 40人

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市

実施時期： 2009～2011年

医療センターの建設

目的： ハイテク医療センターにより、沿海地方のみならずロシア極東全域につき、その保健水準を基本に新しい質的段階に引き上げる。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府

設計機関： 公開制株式会社《Institut obschestvennykh zdaniy (公共建物研究所)》モスクワ市

プロジェクトに関する情報：

建物総面積 - 62,363 m²

病棟ベッド数 - 1,000 床

手術棟 - 手術室 22 室

計画上の年間手術数 - 10,000 件

現代的設備を備えた医療センターの建設により、フォーラム参加者に高水準の医療サービスを保証する。その後は、沿海地方住民に対する無償専門的医療支援国家保障プログラムの実現に全面的に参画し、医療へのアクセスを保証するとともに、手術順番待ち時間を短縮して社会的緊張を緩和する。

見積り額： 50 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市

実施時期： 2008 ~ 2011 年

ウラジオストク市外傷科・整形外科・人工関節施術医療センターの建設

目的： 優先国家プロジェクト「健康」により、その枠内で、極東ではこの分野で最も現代的な医療機関となる外傷科・整形外科・人工関節施術連邦医療センターを建設する。ここでは、沿海地方住民のみならず、当地域全域の住民に向けて、質の高いハイテク医療を提供することができる。

プロジェクト主導者： 沿海地方行政府

設計者： 公開制株式会社《Primorgrazhdanproekt》

プロジェクトに関する情報：

敷地総面積 - 88,773 m²

建設面積 - 7,791.10 m²

収容規模 - 165 床

階数 - 1~4 階

建物総面積 - レベル 0.000 以上 - 18,780.20 m²、レベル 0.000 以下 - 6,405.3 m²

医療水準の高さにより、国際的な品質保証システムの導入が可能となる。医療スタッフは、将来、沿海地方出身の専門家から選抜する予定。この分野を専門とする沿海地方の医療関係者の教育および研修の方法も検討中である。

見積り額： 30 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方、ウラジオストク市

実施時期： 2007~2010 年

軍勤務者向け住宅建設

目的： 戸数 16,000 戸を超える軍勤務者向け住宅の建設が決定されている。

プロジェクト主導者： ロシア連邦国防省および沿海地方行政政府

プロジェクトに関する情報： 2009 年には、軍人への住宅支給用として、全戸数 1,161 の集合住宅が引渡される。また、2010 年には、さらに全戸数 4,860 の新しい集合住宅 16 が入居可能となる予定。保育園、学校、病院などの社会・生活インフラ立地の課題も、総合的アプローチの枠内で解決する。

見積り額： 470 億ルーブル

プロジェクト実施見込み地域： 沿海地方

実施時期： 2009～2012 年